



【ほっかいどうだいがくそらぬまこや】

北海道大学空沼小屋

スイス人建築家が設計

札幌南郊、空沼岳の万計沼畔に所在する山小屋で、秩父宮雅仁親王の発意により、スイス人建築家マックス・ヒンデルが設計した。山小屋の命名は高松宮宣仁親王。

築後90年以上経過していること、日本近代建築史上著名なスイス人建築家ヒンデルが手掛けたスキーヒュッテ三部作の一つ（他パラダイスヒュッテ、ヘルベチアヒュッテ）であること、北海道戦前期のログ工法建築の数少ない遺構であることなどから、その価値は高く貴重な存在。

機能的なヒュッテ

丸太組構法二階建、小規模ながら登山者が集えるストーブ周りの吹抜や、30人を収容可能な二階の寝所、建具の金具意匠、木柄の太さなど、機能的で良質なスイス風のヒュッテ（山小屋）。

概要

- 木造 2 階建
- 建築面積 55.011㎡



1階内部
(ホール東側)

建築年代

昭和 3 (1928) 年 (平成28 (2016) 年改修)

登録年月日

令和 4 (2022) 年 6 月29日

所在地

札幌市南区常盤 石狩森林管理署1157 イ林小班

お問い合わせ

国立大学法人北海道大学 学務部学生支援課
☎ 706-7546

観覧形態

外観観覧のほか 6 月中旬～10月中旬の土・日・連休となる祝日は利用可(問い合わせ先で申込)

アクセス

中央バス利用「空沼登山口」より徒歩 2 時間